

患者さまとご家族に安心と信頼をお届けするマガジン／

はつらつ通信

2020.9.1 September vol.162

発行：医療法人北志会 札幌ライラック病院 編集：『はつらつ通信』編集委員会

陽だまりのアート

アーティスト発、いたわりと感謝の声

今年1月から開催中の『びょういんあーとぷるじえくと19-21展(第14回) Vol.2 陽だまり』。夏には新企画「陽だまりフォトプロジェクト」が加わりました。これまでのような作品展示ではなく、17名のアーティストが撮影した「身のまわりの自然や風景」や「身近で心惹かれること」の写真にメッセージを添えたパネル28枚で構成されています。この新企画は、コロナ禍で医療現場の緊張感や閉塞感が増す中、病院にかかわる全ての方々へいたわりと感謝の声を届けたいという気持ちから生まれたといいます。展示場所がデイケア室と総合支援センターの間の通路壁面なので、目にするのは主に職員。心がぼつとめくもるような写真や言葉に、日々癒されています。



北海道新聞が取材に来院
(7月18日付 北海道新聞くらし欄に掲載)



ウィズ・コロナ環境下での最良を探して

感染予防と誠実に向き合い状況判断

4月16日、政府は新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく「緊急事態宣言」を全国に拡大。北海道は、蔓延が進み重点的取り組みが必要な「特定警戒都道府県」と位置付けられました。それを機に、地域連携部と在宅サービス部門を統括する総合支援センターらいらっくでは、感染予防の体制づくりに着手。現在も改良を加えながら、ウィズ・コロナ時代の最良のサービス提供を追い続けています。

在宅サービスは利用の意志を尊重

当院では在宅サービスとして、訪問看護、訪問看護、訪問リハビリ、デイケアを提供しています。新型コロナウイルスの感染が広がるにつ



必要に応じ、防護具着用で訪問看護



デイケア室の手作りパーテーション

れ、訪問サービスやデイケアの利用を休みたいというご要望を受けるようになり、訪問した玄関先で相談を受けたこともあります。そのような場合はご利用者さまの意志を尊重して休止とし、その間は電話

での定期的モニタリングや体調確認、運動指導などでフォローしています。

デイケア自体も3密を避けるため、皆さまのご理解とご協力のもと、利用回数を制限して1日あたりの人数を大幅に減らすなどで対応。おかげさまで感染発生もなく、現在では通常に戻っています。

一方、医師や看護師が医療的処置を行う訪問診療・訪問看護のニーズは高まりました。状況のわからない患者さまの元へ赴く際は、N95マスクなどの防護具を着用したもののしい格好で伺うこともあります。



利用者さまの送迎車両を定期消毒

札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
5. 身体的なことだけでなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

入院・転院は問診票で状況把握

入院相談を受けている地域連携部では、発熱の有無といった症状と患者さまを取り巻く感染状況などを記入する問診票を作成しました。「これまでの口頭確認だけでは万一感染が発生した時に感染経路をたどれない、記録で残す必要がある」と職員が意見を出してくれました。「鍋谷センター長は振り返ります」。



鍋谷センター長

ころに返ってきたのは、先方からの非常に好意的な評価でした。問診票は患者さまを送り出す病院にとって、状況をすべて知らせた上で転院が認められたと証明する文書となり、大きな安心感に繋がったようです。

「主治医自ら記入されていることが多く、感染予防を明確にする意志が感じられます」と鍋谷センター長。問診票の導入により、入院までの流れもスムーズになりました。双方に安心感をもたらした問診票は、コロナ禍で医療従事者が背負う感染予防に真正面から誠実に向き合った成果といえそうです。

新型コロナウイルス感染に注意！

感染予防対策

- 手洗い
- 手指消毒
- マスク
- 換気
- 清掃・消毒
- 距離・密着を避ける
- 加湿
- 体調管理

取り組みを書き出し、院内予防を徹底

ウェブサイトのリニューアル



<https://lilac.or.jp/>

刷新した当院ウェブサイトが8月3日に公開となりました。すっきりとしたデザインの新サイトでは、当院からのお知らせをホームのわかりやすい位置に配置。病棟の面会禁止の期間延長などのお知らせにアクセスしやすくなりました。また、皆さまからいただいたご意見に回答するページを設けるなど、情報発信とともに風通しの良いコミュニケーションも目指します。

医療法人北志会

基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、よりよい医療サービス実践のため日々研磨します。

基本方針

- 一. 患者様の生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 二. 専門の医療を提供し、安心して療養に専念できる環境を整備します。
- 三. 職員は、責任と誇りを持ち、日々学習し、専門職としての使命を果たします。
- 四. 職種・職域を超えたチーム医療を目指します。

『はつらつ通信』編集委員会発足

読者のご要望に応える紙面に

サイト刷新を機に 発信力をアップ

本紙『はつらつ通信』は1992年2月に創刊し、数回のリニューアルを経て、今号で162号となります。現在は奇数月の隔月発行で、待合ロビーに置き無料配布するほか、地域の関係機関などに送付して、当院の取り組みや部門紹介といった情報を発信しています。



委員会で編集方針を検討

ナーが設けられ、これまで以上に内容充実が求められることとなりました。近年は編集担当職員がそのときどきの院内の話題などを集めながら掲載内容を検討していましたが、情報発信力の強化には全院体制で関わる必要があると判断。編集委員会の発足が決まりました。

『はつらつ通信』のバックナンバー



8月に第1回会議 編集に多職種が参加

8月14日(金)に第1回の会合が持たれました。病棟の看護師から、リハスタッフ、臨床

『はつらつ通信』編集委員の面々



工学技士(CE)、地域連携部の医療ソーシャルワーカー(MSW)まで、委員は多職種で構成。当院の特色である人工呼吸器や人工透析の話題はもちろん、地域の皆さんが知りたい医療情報なども専門職の切り口で発信していける編集を目指します。

「あの情報について知りたい」「こんな記事が読みたい」などのご要望がありましたら、お気軽にお寄せください。



送迎付き 企業健診のおしらせ

当院では、企業様が定期健診や雇用時健診に利用しやすいよう、一般の健診とは別体系の料金を設定しています。無料送迎にも応じますので、医事課までお気軽にご相談ください。

基本健診 問診、服薬歴・喫煙歴の確認 / 自覚症状・他覚症状の有無の検査 / 身長・体重・血圧・聴力検査・視力検査 / 腹囲測定 / 尿検査 / 胸部エックス線検査 / 貧血検査 / 肝機能検査 / 脂質検査 / 血糖検査

企業料金
4,000円

企業健診は企業様からのお申し込みに限らせていただきます。(お申込み人数に制限はございません。1名様からお申込みいただけます。)

【企業健診】①在職職員様対象の定期健康診断 ②新入職員様対象の雇用時健康診断があります。

※②については「心電図検査」が必要となりますが、当院では1,000円の追加料金にて当該検査をお受けいただくことも可能です。



医療法人 北志会

札幌ライラック病院

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号

☎011-812-8822 URL <http://www.lilac.or.jp>

診療時間 [平 日] 9:00~12:30 13:30~17:00 [土 曜] 9:00~12:00
面会時間 [平 日] 14:00~20:00 [土 日 祝] 12:00~20:00



『はつらつ通信』に対するご意見・ご希望は、電話または当院ウェブサイトのフォームにてお寄せください。